

2000年10月の大気大循環と世界の天候

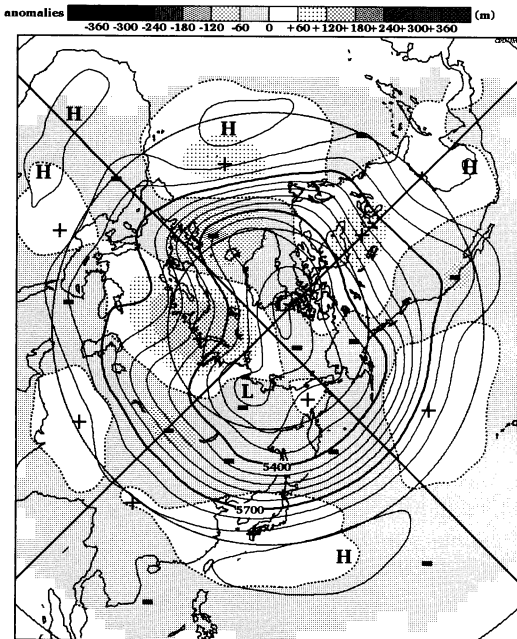
大気大循環

北半球500 hPa 高度では極渦が弱く、その中心はグリーンランド北部に位置していた。大西洋からヨーロッパ北部、ロシア西部、モンゴルにかけて正・負・正・負の偏差が分布した。また、オホーツク海周辺と北アメリカ西部で負偏差、北アメリカ中・東部で正偏差が分布した。亜熱帯ジェットは大西洋北部、中央アジア付近で平年より偏西風が強かった。中国から日本にかけての強風域は平年より北偏し、かつ東に伸びて分布していた。

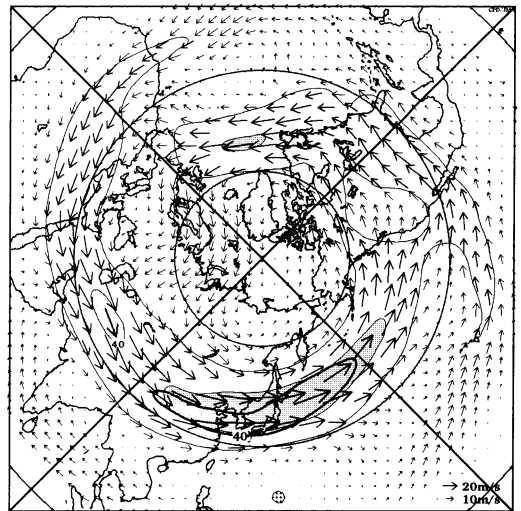
対流活動はインド洋北東部、インドネシア付近から西部熱帯太平洋にかけて再び非常に活発化し、太平洋のITCZ(熱帯収束帯)の対流活動は赤道の北側10°付近でおおむね活発だった。200 hPa 大規模発散域はフィリピン付近に存在し、その中心は平年より15°以上西寄りに位置していた。太平洋では、7月以降ITCZの活動が活発化したことを反映して、赤道を横切る南向きの発散風が持続的に見られたが、今月は特に熱帯太平洋全域で強かった。SOI(南方振動指数)は前月に引き続き+0.9となった。

世界の天候

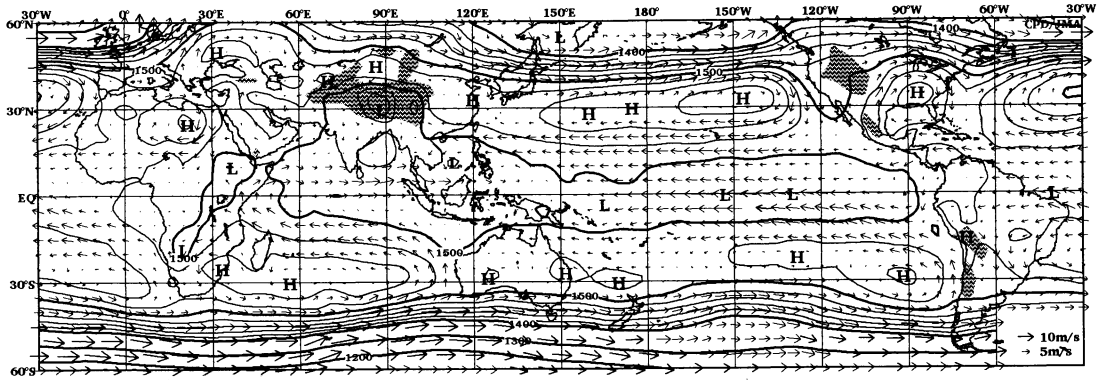
- ①シベリア南部から中央アジアの多雨
シベリアのバグダリンで30 mm (337%)。
 - ②西日本から中国南東部の高温
 - ③南シナ海周辺の多雨
 - ④アジア南部の高温
マレーシアのクアラルンプールで27.8°C(+1.5°C)。
 - ⑤ヨーロッパ東部の少雨
ベラルーシのミンスクで2 mm (4%)。
 - ⑥ヨーロッパ北部の高温
ポーランドのワルシャワで11.6°C (+3.2°C)。
 - ⑦ヨーロッパ西部の多雨
イギリスのマンチェスターで194 mm(251%)。スイス南部からイタリア北部では、中旬以降に大雨による洪水や地滑りにより、死者・行方不明40人以上が報じられた。
 - ⑧米国東部からカリブ海諸国の少雨
 - ⑨米国西部の多雨
米国南西部のフェニックスで81 mm (488%)。
 - ⑩南米北部の高温
 - ⑪オーストラリアの多雨
- (気象庁気候・海洋気象部気候情報課 西潟政宣)



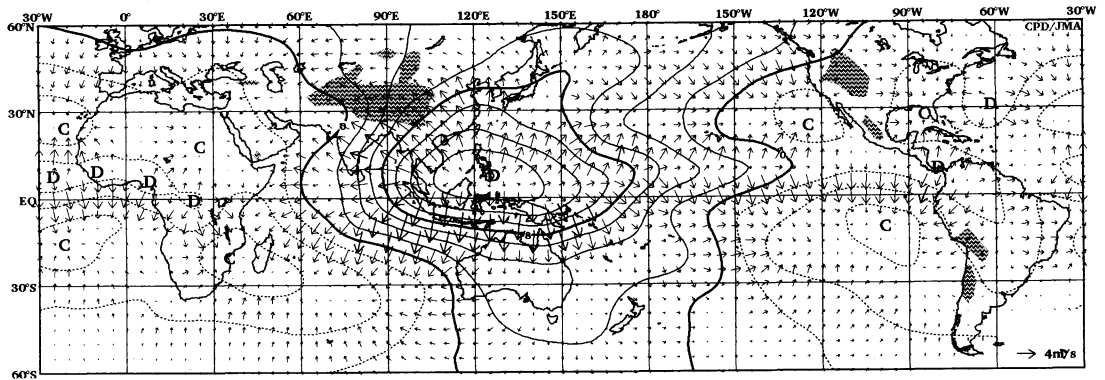
2000年10月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



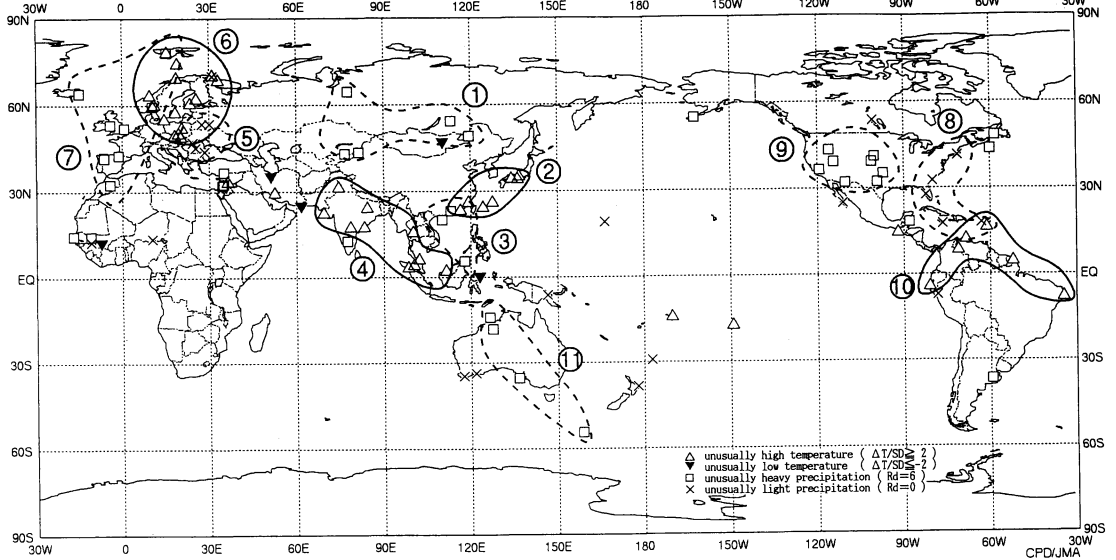
2000年10月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上. 平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



2000年10月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



2000年10月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2000年10月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の
 番号は本文中の番号と対応している.